

補助事業番号 19-1-130

補助事業名 平成19年度 性感染症の予防に関する啓発普及補助事業

補助事業者名 財団法人 性の健康医学財団

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

この事業は、若い人たち向けに正確な性に関する情報を提供して、エイズを含む性感染症（STDまたはSTI）を予防するための啓発活動を実施することと、専門の医師・相談員による性感染症の健康相談・検査事業を実施することとによって、医療及び公衆衛生の向上に寄与することを目的としています。

(2) 実施内容

上記の目的を達成するために、次の事業を行いました。

2-1 性感染症の予防のための普及啓発媒体の作成

今年度は、次の二種を発行し、全国の保健所、学校・大学等に配布しました。

1 医療従事者・養護教諭向けの手引き書として

「性感染症 Q&A 2008」（B5判）本文48頁、3,000部

2 若い人たちのためのパンフレット

「STDハンドブック 2008」（A5判）本文16頁、25,000部

2-2 性感染症予防に関する相談業務

財団のホームページで見て予約の上、直接、湯島二丁目の財団附属クリニックにある若い人向けの健康相談室で、性感染症専門の医師・相談員と相談・検査・診療を受けることができます。無料・匿名でプライバシーは保護されています。

・健康相談室の案内印刷物（図柄は、1以外はすべて漫画家日向琴子氏）

1 健康カード「STD電話相談・健康相談室案内」（図柄：ケータイ）1.4万部

2 健康カード「STD電話相談・健康相談室案内」（図柄：女の子）1.5部

3 健康カード「STD電話相談・健康相談室案内」（図柄：男の子）同上

4 健康カード「性感染症情報ネット・健康相談室案内」（図柄：Vサイン）同上

いずれもテレホンカード型URL案内 4種類計5.9万部発行し、

全国の保健所や希望される学校や大学の保健室等に配布しました。

2. 予想される事業実施効果

現在の日本では、エイズ/HIV感染者が増加していることが懸念されています。クラミジアや淋菌などのSTD感染者は、エイズにかかりやすいことが証明されていますけれども、特に若い人たちは自覚に欠け、先進諸国のように学校などでの性感染症に関する正確な情報に接する機会が乏しいのが日本の現状です。最近はおーラルセックスの結果、のどにクラミジアや淋菌が見つかる例も増加しています。

専門の医師の正確な情報提供と早期の相談・検査によって、性の健康を向上させること、また、性交渉にはコンドームを正確に着用して性感染症にかかるのを避けるという、単純ですが明快な行動が決定的に重要となります。地道にこれらの普及・啓発を行って、波及効果を期待しています。

3. 本事業により作成した印刷物等
上記1-(2)に列挙してあります。

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：財団法人 性の健康医学財団

住所：113-0034

東京都文京区湯島二丁目3-1-6 湯島堀井ビル3F

代表者：理事長 松田 静治（まつだ・せいじ）

担当部署：事務局

担当者名：川崎 猛彦（かわさき・たけひこ）

電話番号：03-3813-4098

F A X： 03-3813-4107

U R L：<http://www.jfshm.org>